

# 千葉県立銚子高等学校



## 1 学校の紹介

千葉県立銚子高等学校は明治44（1911）年に創立され、以来地域の女子教育の殿堂として優れた教育活動が実践されてきた。時代や社会の急激な変化に伴い、平成19年4月には共学校となり、本校生徒の進路希望も大きく変化してきた。四年制大学への進学希望者は約7割にのぼり、看護師や公務員志望者も増加している。これらのニーズに適切に応えるため、本校では生徒のさらなる学力向上と進路希望の実現を目指し、小論文指導の充実に向けた、「全職員での対応体制の構築」・「読書活動の充実」を柱とした取組を学校全体で推進している。

平成26年度からは県立学校改革推進プランによって「防災の学び」を実施しており、本県における先進的な防災教育の実践に取り組んでいる。また、今年度は国立教育政策研究所の平成31年度実践研究協力校事業に係る協力校として、文部科学省から視学官をお招きして「書くこと」の領域において言語活動の充実を図った指導と評価に関する研究にも取り組んでいる。

### ○学校教育目標

- 1 知・徳・体のバランスがとれ、グローバル社会を生き抜くことができる力を養うこと。
- 2 社会的・職業的自立に向けて、物事をやり遂げたり理解したりする優れた力を養うこと。
- 3 生徒一人一人の進路希望の実現を図ること。



## 2 自校の図書館の現状

本校学校図書館は管理棟4階にある。海を眺望できる閲覧室は、広さ284㎡、座席数は90席ほどあり、ゆったりとした環境である。放課後だけではなく、始業前の朝に利用する生徒もいる。

閲覧室はコンピュータでのデータ登録・管理している2万冊ほどを所蔵しているが、書庫にはコンピュータ未登録の古い図書資料があふれている。そのため、除籍・廃棄等を行い、適正な環境整備を進めている最中である。

## 3 司書教諭及び図書主任等の教員の取組

### (1) 校内組織と主な役割

本校では、教務部の中に図書係が組み込まれ、教務主任が図書主任を兼任している。司書教諭は他分掌に所属しているため、図書委員会と通常の学校図書館運営は、司書教諭と学校図書館に常駐している学校司書が行っている。

## (2) 読書推進活動に関すること

### ア 県銚子モブ (Morning Book)

朝のHR前の時間を有効に使うことによって落ち着いて授業に臨んだり、読書に



親しみ、読書を通じて教養を身に付けることを目的として、本年度から実施している。意識を持たせるためにポスター(左図)で呼び掛けたり、図書館内だけではなく、生徒たちの目に触れる場所に本を設置している。

学級文庫として1, 2年生の各教室に教職員から募った本を10冊程度設置している。小説だけではなく新書やノウハウ本など、ジャンルは多岐

に渡る。3年生は、担任選書の進路関連本を置いている。また、生徒昇降口付近の生徒ホールには新聞コーナーや書棚を設けており、同窓会との連携で同窓会員から寄贈された200冊を超える本も自由閲覧用図書として並べてある。これら図書資料の再配置等の管理は、紛失・破損に配慮しながら定期的に図書委員が行っている。

### イ 校内ミニ・ビブリオバトル: 1・2年生対象

#### 【目的】

学力向上と進路希望の実現を目指した取り組みの読書活動を推進する

#### 【予選】

- 1 日 時 令和元年11月21日(木) 6限
- 2 会 場 各教室
- 3 事前指導 「ビブリオバトルQ&A」を全校生徒に配布。  
各クラス5名程度の発表者を募り、発表準備をさせておく。
- 4 時 程 1人3分の発表。
- 5 係 分 担 図書委員が司会進行、集計等を務め、各クラスの代表者(チャンプ本)を決定。



#### 【本選】

- 1 日 時 令和元年12月19日(木) 2限
- 2 会 場 体育館
- 3 時 程 1人3分の発表(各クラス代表8名)。
- 4 係分 担 図書委員が会場準備・片付け、および



司会進行、集計等を務め、チャンプ本を決定。

【感想・反省等】

- ・本選では伝えたいことの7割位しか話せなかったのが残念だった。(2年)
- ・初めてやってみて、これを機会に皆がもっと色々な本を読んでもらいたいと思った。次回の予選は長く時間を取って、全員参加でやってみたい。(2年)

- ・図書委員としての仕事が色々あって、準備や広報なども大変だったが、貴重な体験ができて良かった。(1年)



(3) 学習等に関する支援

ア 教科での実践例

○国語総合

本年度、国語総合では小説、物語教材を中心に学習することになっている。読書習慣によって、知識・教養・語彙力・想像力の向上や、自らの考えを文章で表現する力を育てることを目的とし、年3回、読書感想文を書かせた。

第1回は1学期の図書館オリエンテーションに合わせ、明治・大正期の文豪作品を対象図書とした。文庫本や短編集、全集なども含め、学校図書館では161名全員分の図書資料を準備した。他に読みたい作品がある場合は生徒自身が用意をした。

第2回は夏季休業中課題として、第3回は冬季休業中の課題としてノーベル文学賞関係の作品を対象とし、それぞれの課題に合わせ、学校図書館内にコーナーを設けた。

○防災の学び

第1学年の学校設定科目である「防災の学び」では、昨今増加している自然災害のメカニズムや銚子市の自然災害史などを学ぶことで、「自助・共助」の精神を養うとともに、地域の防災リーダーを育成することを目標としている。積層図作成、および郷土史関連の講義やジオツアーなどの体験的学習を通じて地形や地域性による災害発生メカニズムを理解し、有事の際に主体的な行動がとれるようなスキルを身に付けさせる内容となっている。

その中で、「銚子地域の防災を考える」ことをテーマとし、全9時間を課題研究として探究学習を行った(指導案添付)。学校図書館では司書教諭と防災担当者の指示の下、学校司書が郷土資料や防災関連図書、防災や災害に関する新聞記事の見出しの一覧表作成と、防災図書コーナーを設置した。

昨年度の総合的な学習の時間などをふまえ、司書教諭が資料として「情報の探し方～求める情報はいろいろなところにあります～」を作成し、レファレンスの方法説明を行った。

## イ 図書委員会



各クラスから2名ずつ選出される図書委員の主な活動は、図書館整備や昼休みのカウンター当番、新着本や新聞記事の紹介などである。館内の本だけではなく、学級文庫や生徒ホールの書棚の入れ替え(左写真)なども、レイアウトを工夫しながら定期的に行っている。

今年度は校内ミニ・ビブリオバトルの準備・司会・集計など、人前に立つ仕事も行った。図書委員の中には比較的目立つことが苦手で控えめな生徒が多いが、与えられた仕事を自分なりに考え、責任感を持って取り組んだ結果、達成感や充足感を得られたように見受けられる。

## 4 成果と課題等

本年度「読書活動の推進事業～確かな学びの早道『読書』」の指定校となったことをきっかけに、さまざまな角度から読書活動を見直した。県銚モブ(Morning Book)や校内ミニ・ビブリオバトルなど、新しく取り組んだこともある。それに伴い、同窓会や地域の方々から多数寄贈された郷土資料を含めた貴重な本が、授業等でも活用できた。

本校の司書教諭は、主に読書活動のさまざまな取組と教職員を繋ぐ役割を担っている。授業内で取り扱う館内資料のリストアップや授業展開など、教科担当者との打合せを司書教諭が中心となって行い、学校司書が資料を揃えるという流れとなっている。

前年度まで授業で利用されることが少なく、教科も限定されていた。教室棟からも遠く、場所的にも心理的にも生徒たちにとって近くはなかったようだが、今年度は自習でも利用されることで、蔵書にも興味を持った生徒もいて、利用率も上がっている。

次年度に向けての課題として、学校図書館でより多くの授業を展開してもらえよう、司書教諭と連携を密にした教職員への積極的な働きかけとともに、生徒や保護者などからもさまざまな意見を取り入れ、利活用しやすい学校図書館環境の整備が挙げられる。

今年度の反省を踏まえ、次年度に繋げていきたい。

## 「防災の学び」 学習指導案

千葉県立銚子高等学校  
防災担当

- 1 日 時 令和元年11月15日（金） 第6限 図書室
- 2 学 級 1学年
- 3 学 級 観 課題に対して積極的に取り組む姿勢がみられる。1学期に行った積層図の作成では、班の中で活発に意見を出し合い試行錯誤する姿が多くみられた。
- 4 教 材 「防災の学びテキスト」
- 5 単 元 名 課題研究
- 6 単 元 目 標 「地域の防災」という大きなテーマをもとに各班で課題を設定し、文献等を読解・分析することで課題解決を行う。  
また、ポスター発表を通して、表現力を身に付けさせる。
- 7 単元指導計画 (1) 積層図の作成 4時間  
(2) 講義 12時間  
(3) 課題研究 9時間（本時3／9）  
(4) 演習 2時間

### 8 単元の評価計画（評価規準）

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
地域の防災活動やボランティア活動等に興味を持ち、災害発生時には、自らの安全を守るだけでなく、防災活動やボランティア活動等に積極的に参加できるようにする。	日頃より災害に対する備えを行い、災害発生時には状況に応じた的確な判断により、自らの安全を確保するための行動ができるようになる。	世界や日本、地域の自然災害、防災に関する資料を読み解くことができる。	災害発生メカニズムや歴史及び防災行動の取り方、地域の防災体制について、基本的な知識を身に付けている。

### 9 本時の目標

- ・テーマについて資料を活用し情報収集を行う。

### 10 本時の学習展開

段階 (時間)	学習内容 学習活動	学習活動の支援・指導上の留意点 観点別評価
導入 (5分)	前時の振り返りを行う。 本時の目標設定を行う。	・前回の記録シートを返却する。 ・前回調べた内容を基に、今回の調べる内容について班の中で話し合わせる。（関心・意欲・態度）
展開 (40分)	資料等を用いて情報収集・整理を行う。	・資料一覧から自分たちの課題にあった資料を見付け出させる。（思考・判断・表現） ・机間指導をし、課題解決に困っている班に助言す



		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事は同じニュースであっても新聞社の視点により表現方法が異なることに気付かせる。(思考・判断・表現)</li> <li>・課題に関する資料を読み解き、分析することができている。(資料活用の技能)</li> <li>・参考文献の出典を明記することを指示する。</li> </ul>
まとめ (5分)	記録シートを提出する。	・資料を活用し、課題に沿った内容をまとめることができている。(知識・理解)

### 《授業風景》



### 《配付資料（一部抜粋）》

令和元年度 防災の学び 調べ学習

情報の探し方 ～求める情報はいろいろなところにあります～

スマホだけじゃない！

千葉県立鏡子高等学校図書館

【今回の調べ学習の課題】

「……と言われても、このままでは何をどう書いてよいかわかりにくいですね。そこで、まずは具体的な「問い」の形にしてみよう。「テーマの仮設」をすることで、おおまかな方向性を決めるのです。」

【わたしたちの班の「テーマの仮設」】

（ ）

【テーマを決める・決めたテーマに関するデータ・資料を収集するときの「情報の探し方」】

- ①人に聞く
  - 講演を聴く〔インタビュー 電話 電子メール〕
- ②見学する
  - ジオツアーに参加する
  - 博物館 資料館 施設 展示会 見本市

実施済  
です

今日からは——次の③④⑤をフル活用して調査開始！

③図書館・書店で探す

- 1 レファレンスブック（参考図書）でどんな本があるかを知る。  
「参考図書」とは……辞書・百科事典・専門事典・目録・索引 などのこと
- 2 本が特定できたら、図書館・書店で閲覧・入手する。  
学校図書館にない本でも公共図書館からの借り受けが可能。  
カウンターで司書の先生に相談しよう。



今回は各班に配られた「災害・防災関連図書一覧」から探すのが便利。  
見たい図書が決まったら、学校図書館の特設コーナーから借りる。

④マスメディアで探す

出版社 新聞社 放送局

- 1 どのメディアで、いつ配信されたかを調べる。  
メディアごとの Web ページや「雑誌記事索引」など。
- 2 見つけた情報のコピー・ダビング・ダウンロードは可能かを調べて利用しよう。



今回は各班に配られた「災害・防災関連記事」「台風 15 号 19 号関連記事」から探すのが便利。見たい記事が決まったら、学校図書館の新聞コーナーから借りる。  
新聞記事のコピーがほしい人は司書の先生や担任・副担任の先生に申し出てください。

⑤インターネットで探す

- 検索エンジン 各種リンク集  
各種データベース（本・新聞記事・統計・地図・写真・映画・音楽など）
- 1 カテゴリ検索で探す。
  - 2 キーワード検索で探す。
  - 3 URL を入力して探す。



こんなサイトもあります

内閣府「防災白書」

災害対策基本法の規定に基づき国会に報告を行った「防災に関してとった措置の概況」及び「令和元年度の防災に関する計画」について取りまとめたもの。

〔内閣府ホーム > 内閣府の政策 > 防災情報のページ > 会議・検討会 > 防災白書〕

千葉県立図書館ホームページ「菜の花ライブフリー」

千葉県に関する資料のデータベース。「千葉県デジタルアーカイブ」と「索引」および「調べ方案内（パスファインダー）」からなります。

鏡子市ジオパーク 公式ホームページ

講演やジオツアーで学んだことを復習しよう。

鏡子地方気象台

様々なデータがあります。リンクも豊富。

最後に



得た情報には出典を明記するのがルール。調べる中でその都度控えておき、ポスターに記載しよう。